

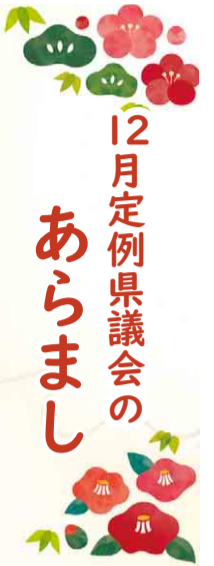
ちば県議会だより

党派等別議員数		
党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	51人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	15人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	4人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	6人

定数94人 現員90人 (令和3年12月21日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



12月定例会県議会の あらまし

12月定例会県議会は、11月26日に招集され、12月21日までの26日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の前報告に続き、令和3年度一般会計補正予算等の議案36件、報告2件が上程され、知事から提案理由説明と新型コロナウイルス感染症等について報告がありました。上程された議案のうち、議案第6号および第7号については先議となり、付託された総務防災常任委員会で審査した後、本会議において採決の結果、原案のとおり可決されました。

その後、議員発議案1件が上程され、可決されました。

12月2日の質問初日には、議員発議による「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

12月2日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、23名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、12月13日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願・発議案(千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例)について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、令和2年度決算は認定されました。続いて、議案1件が追加上程され、知事が

ら提案理由説明があった後、所管の常任委員会(総務防災・健康福祉・商工労働)に付託され、審査が行われました。その後、議員発議案18件(決議1件、意見書17件)のうち決議1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

議案を含む35件の議案と発議案(千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例)が原案のとおり可決されました。その後、議員発議案18件(決議1件、意見書17件)のうち決議1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

12月2日(木)



自民党 滝田 敏幸 議員 (印西市・印旛郡栄町)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 北総鉄道の運賃値下げ
- 消防広域化
- 農林水産業の振興
- 次期県立高校改革推進プラン



立千民 高橋 浩 議員 (木更津市)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 東京湾アクアライン通行料金800円の恒久化
- ちばアクアラインマラソン2022
- 高速道路インターチェンジ周辺の活用
- 学校給食費の無償化



公明党 秋林 貴史 議員 (松戸市)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 災害対策
- 医療・福祉
- 県民生活の安全確保
- 子育て・教育

12月3日(金)

予算委員会の設置

12月定例会県議会において、県の新年度予算および関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

党派等名	委員名		
自民党	◎木下 敬二	○小池 正昭	○岩井 泰憲
	鈴木 衛	武田 正光	鶴岡 宏祥
	石井 一美	茂呂 剛	小野崎 正喜
	川名 康介	高橋 祐子	鈴木 ひろ子
	佐藤 健二郎	宮川 太	
立千民	田中 信行	竹内 圭司	天野 行雄
公明党	菊岡 たづ子		
千翔会	田村 耕作	鈴木 和宏	
共産党	水野 友貴		
その他の 会派・ 無所属	加藤 英雄		
	西尾 憲一(平和党)	プリティ長嶋(県民声)	伊藤 とし子(市民ネ)
	秋葉 就一(リベ民)	坂下 しげき(無所属)	川井 友則(無所属)
	鈴木 陽介(無所属)	田沼 隆志(無所属)	市原 淳(無所属)
	松崎 太洋(無所属)		

◎委員長 ○副委員長

(令和3年12月21日現在)

「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」を可決

12月定例会県議会において、議員提案による「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」が全会一致で可決されました(令和4年1月1日施行)。

この条例は、昨年6月に八街市で発生した、飲酒運転による児童死傷事故を受け、関係機関や団体はもとより、家庭、学校、職場、地域等が一丸となって飲酒運転の根絶に取り組む決意の下、飲酒運転のない、県民の誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、制定されたものです。

主な内容としては、県民や飲食店、酒類小売店等の関係事業者は、飲酒運転をしている者や、これから飲酒運転が行われる恐れがある等の状況を見つけた場合には、速やかに警察官に通報するよう努めること、車両を運行する全ての事業者は、アルコール検知器等を積極的に活用し、運転者の飲酒の有無を確認するよう努めること、また、公職にある者は、飲酒運転の根絶に率先して取り組むことなどを規定しています。

なお、条例が施行された後も、飲酒運転を取り巻く状況等を踏まえて随時検討を加え、必要に応じ、実効性を確保するための規定の整備等の措置を講ずることとしています。

代表質問から

新型コロナウイルス感染症

問 令和3年の夏の感染拡大を踏まえた病床や宿泊療養施設の確保等について、どのように取り組んでいるのか。

答 新たに策定した保健・医療提供体制確保計画では、令和3年の夏の感染状況を踏まえ、感染力がより強くなった場合も想定し、臨時の医療施設約200床を含め最大で1736床を確保し、うち重症者用の病床として最大で178床を確保することとした。

そのうち、妊婦の受け入れが可能な病床として40床、小児の受け入れが可能な病床として45床を確保するなど、配慮が必要な患者向けの病床の確保にも努めている。

また、軽症者等に対応するための宿泊療養施設については、2000室を確保することとした。

オミクロン株はいまだ不確定、不明確な部分があるので、感染動向を十分に注視し高い緊張感を持ちながら、今後の感染再拡大にも対応できるように、確保した病床や宿泊療養施設の効果的な運用に努めていく。

問 県立高校入試において、濃厚接触者の受検はどのように対応するのか。

答 県教育委員会では、受検生が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者であっても、PCR検査等の結果が陰性で、受検当日も無症状でありかつ公共交通機関を利用せずに受検会場に移動することができれば、別室での受検を可能としている。

このため、受検生が濃厚接触者となる疑いのある場合は、できるだけ早く特定し、PCR検査等を実施してもらえよう、健康福祉部を通して保健所に協力を依頼した。

なお、受検生が新型コロナウイルス感染症の罹患等により、本検査も追検査も受検できなかった場合に備え、回復に必要な期間を置いて、特例検査を実施し、受検機会を確保することとしている。

問 感染症の影響を大きく受けた飲食・観光業をはじめとする中小企業に対し、国の経済対策も踏まえ、どのように支援を行っていくのか。

答 県では10月以降、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、「GoToイート」事業の食事券販売や「ディスプレイ」宿泊者優待事業の利用制限の解除などを段階的に行い、需要回復に取り組んでいる。

また、特に落ち込みの大きかった観光分野については、国の経済対策やオミクロン株の状況なども踏まえ、さらなる需要喚起策の検討を進めている。

加えて、経済対策では、新しい経済環境に対応した事業再構築や、生産性向上のためのデジタル化の導入等の対策が強化されており、こうした国の支援策を県内中小企業が最大限活用できるよう、県としても伴走型支援の拡充などにより支援していく。

問 後遺症に関する取り組み状況はどうか。

答 治療終了後に、倦怠感や息苦しさなど、体調不良を訴える人がおり、このような症状については、いわゆる

後遺症として、国の診療の手引きでも取り上げられている。県では、後遺症に悩む人々に幅広く対応するために、県医師会の協力を得て、かかりつけ医や感染症の診断を行った医療機関で受診できる体制を構築している。

また、コロナの後遺症かどうか分からない、受診先が分からない等の相談については、保健所等でも受け付けているところであり、11月は保健所で19件、発熱相談コールセンターでは3件の相談に対応した。

さらに、県民の不安軽減や相談・受診につなげるため、コロナ後遺症に関する最新の情報を県ホームページに掲載するなど、県民への正確な情報の発信に努めている。

農林水産業

問 農業の生産力強化に向け、どのような点に力を入れていくのか。

答 次期振興計画では、農業の生産力の強化に向け、担い手への農地集積や、水田を活用した野菜の作付けなど水田の汎用化、荒廃農地の活用など、農地の有効活用を重点に進めていく。

また、加工・業務需要の拡大など市場動向を捉えた産地の生産体制の強化を図る。本県農業産出額の3分の1を占める野菜では、需要の拡大が期待できる「ネギ」「サツマイモ」「ニンジン」「トマト」の4品目を強化品目として位置付け、新産地の育成など生産量の増大を図る。

さらに、経営規模に合わせたスマート農業技術の導入に加え、梨や落花生など本県主要品目の生育予測技術や、畜舎の洗浄管理システムの開発・実用化を行うことにより、スマート農業を加速化し、本県農業の生産力強化と生産者の所得向上に取り組んでいく。

問 水産業の振興について、どのような点に力を入れていくのか。

答 次期振興計画では、水産資源の持続的な利用に向けて、科学的な評価に基づく適切な資源管理を一層推進するとともに、担い手の確保・定着に向け、地域や漁業者による新たな支援体制の構築を進めていくこととしている。

また、ICT等の新技術を活用したスマート水産業の推進による生産性の向上等と合わせ、拠点漁港の機能強化を着実に進めるなど、産地における価格形成力を強化し、漁業所得の向上を図る。

さらに、多様な消費者ニーズを捉えた水産物の需要拡大、魚食文化や海洋レジャー等の地域資源の活用、漁港を核とした賑わいの創出などにより漁村の活性化にも取り組み、産業振興とともに地域振興の面からも、本県水産業の発展に努めていく。

次期県立高校改革推進プラン

問 次期県立高校改革推進プランの原案が示されたが、魅力ある高等学校づくりに向けて、どのような改革を進めていくのか。

答 令和3年11月に公表した次期プランの原案では、県立高校の魅力化と学びの改革およびキャリア教育等の充実などを重点事項とし、時代や社会が求める人材の育成に向けた新たな学科・コースの設置、職業系専門学科の活性化などを進めることとしている。

具体的には、地域社会が抱える課題や、SDGsの実現、Society5.0の到来に伴う諸課題などの探究に取り組む学科等の設置や、自然科学や数学など各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていく、いわゆるSTEAM教育を系列に取り入れた総合

学科の設置などを推進する。また、地域で必要とされる人材のうち、医師や教員、保育士などの育成を目指すコースの増設や、基礎学力や社会的・職業的な自立の基盤となる能力・態度を養う「地域連携アクティブスクール」の追加設置などについて検討していく。

飲酒運転の根絶

問 飲酒運転の根絶に向け、飲酒運転に関する情報提供を取り締まりに活用するべきと思うがどうか。

答 県警では、飲酒運転の根絶に向け、「飲酒運転等危険な運転の根絶」を掲げ、組織を挙げて取り組んでいるところであり、検問や職務質問の他、県民からの110番通報等による情報提供に基づいた検挙活動についても実施している。

問 飲酒運転の検挙活動における情報提供の重要性を踏まえ、令和3年10月に県警ホームページ内に、飲酒運転専用の情報提供用メールボックスを新設し、先日、提供を受けた情報に基づき、飲酒運転取締り強化プロジェクトチームが違反者を検挙している。

引き続き、110番通報と合わせ、情報提供用メールボックスの利用による情報提供が促進されるよう周知を図るなど、飲酒運転の根絶に向けた効果的な取り組みを推進していく。

ちばアクアラインマラソン

問 ちばアクアラインマラソン2022の現在の準備状況はどうか。

答 ちばアクアラインマラソン2022については、ランナーをはじめ多くの人々から開催を期待する声をもらっており、令和4年11月6日に開催することを決定した。

まずは、令和4年3月25日から始めるランナー募集に向けた広報活動に取り組むこととしており、SNSやインターネット等のさまざまな広報媒体により、プロモーションビデオを配信するなど、本大会や千葉県の魅力を積極的にPRしていく予定である。

また、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを引き継ぎ、障害のある人を含め、多くのランナーに参加してもらえる大会となるよう、新型コロナウイルス感染症対策もしっかりと講じた上で、地元自治体を



はじめとする皆さんと連携を図りながら、鋭意準備を進めていく。

- ◆ 可決された議案・発議案
- ◆ 令和3年度補正予算関係(6件)
- ▽ 一般会計(2件)
- ▽ 特別会計(4件)
- ◆ 条例の一部改正(9件)
- ▽ 職員の給与に関する条例等
- ▽ 特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
- ▽ 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽ 使用料及び手数料条例
- ▽ 無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽ 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例
- ▽ 千葉県自然公園施設設置管理条例
- ▽ 千葉県自転車道の安全で適正な利用の促進に関する条例
- ▽ 千葉県県営住宅設置管理条例
- ◆ その他(22件)
- ▽ 契約の締結(4件)
- ▽ 契約の変更
- ▽ 損害賠償の額の決定及び和解
- ▽ 当せん金付証券の発売
- ▽ 指定管理者の指定(15件)
- ◆ 議員提出
- ◆ 条例の制定
- ▽ 千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例
- ◆ 条例の一部改正
- ▽ 千葉県議会議員の議員報酬等に関する条例

引き続き、110番通報と合わせ、情報提供用メールボックスの利用による情報提供が促進されるよう周知を図るなど、飲酒運転の根絶に向けた効果的な取り組みを推進していく。

◆ 可決された決議

▽ 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議

千葉県議会

インターネット中継

インターネットで本会議、予算委員会の生中継および録画中継(過去3年分)をご覧ください。

千葉県議会中継 検索

各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 災害時の通信復旧に向けた株式会社NTTドコモとの協定に基づき、どのような取り組みが行われるのか。

答 本協定により、被災者への支援や迅速な通信の復旧のため、避難所における無料のWiFiや充電サービスの提供

の他、災害対策本部が設置される県・市町村庁舎等に対する通信確保などの取り組みが行われる。

総合企画企業常任委員会

問 総合計画の原案に対して、策定懇談会の委員からどのような意見があったのか。

また、委員の意見を踏まえ、どのように取り組んでいくのか。

答 「千葉の未来にとって、現時点で必要と考えられる項目がおおむね網羅されている」など一定の評価をもらった。

一方で「計画の実効性を確保していくことが重要である」などの意見があった。

また、取り組みを着実に執行するため、新たな総合計画においても数値目標を定めて、政策評価をしっかりと実施していきたいと考えている。

健康福祉常任委員会

問 新たな臨時医療施設の稼働開始について、どのようなタイミングを考えているのか。

答 本県の新たな臨時の医療施設については、重症化リスクのある軽症患者等への早期の投薬治療により、一般の医療機関の病床の逼迫を未然に防ぐことを大きな目的としている。

このため、一般の医療機関の病床が逼迫する前から、感染再拡大の兆候が見えてきた段階で、できるだけ早く稼働していきたい。

環境生活警察常任委員会

問 県内の交通事故の発生状況と死亡事故の特徴はどうか。

また、高齢者の交通安全対策の取り組みはどうか。

答 令和3年11月末現在では、前年同期と比較して発生件数と負傷者数は増加しているが、死者数は減少しており、全国ワースト5位となっている。

特徴としては、死者の年齢層では、65歳以上の高齢者が約6割と高いこと、高齢運転者が第1当事者となった死亡事故が死亡事故全体の約4割と高いことなどが挙げられる。

高齢者の交通安全対策として、天候や体調を考慮して適正な運転行動を取る「はればれ運転」の広報、運転免許返納者に対する公共交通機関運賃割引等の支援の拡充、交通安全教育の推進などに努めている。

商工労働常任委員会

問 高等技術専門学校については、入校率が減少傾向とこのところであるが、今回の市原高等技術専門校の建て替えを入校促進にどのようにつなげていくのか。

答 最新の訓練機器を使用して訓練ができることを市原高等技術専門校の魅力として積極的にPR活動を行い、入校生の確保に努めるとともに、訓練環境が改善した新しい施設で効果的な職業訓練を実施していく。

農林水産常任委員会

問 12月5日に市川市で発生した鳥インフルエンザの対応状況はどうか。

また、対策の取り組み状況はどうか。

答 当日午前中に殺処分、清掃・消毒等の防疫措置を終え、12月8日までに殺処分した鳥やエサ等の焼却など、全ての作業を完了した。

また、対策の取り組み状況については、県内の養鶏農場、274農場について、10月末までに緊急点検巡回を行い、飼養衛生管理基準の遵守について指導を行った。

なお、不備が見つかった農場に対しては、改善指導を継続していく。

県土整備常任委員会

金ケ作県営住宅第2期工

事において、住宅56戸および集会所等の整備を行うところだが、入居開始はいつか。

また、今回の整備により全体で何戸供給されるのか。

答 令和5年6月までに工事が完了し、入居募集は、令和5年10月を予定している。このため、入居開始は令和5年12月ごろとなる見込みである。

また、今回の第2期工事で金ケ作県営住宅の建設事業が完了し、平成23年度に入居開始済みの136戸を合わせた全体の戸数は、192戸となる。

文教常任委員会

問 特別支援教育について、次期推進基本計画では、どのように進めていくのか。

また、次期整備計画ではどのように過密状況に対応していくのか。

答 次期推進基本計画では、第2次計画の理念である共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進を進展させ、学校相互や関係機関との切れ目ない支援体制の充実を図っていくとともに、医療的ケアの支援体制の充実など新たな課題にも対応していく。

次期整備計画では、特別支援学校設置基準を踏まえ、各学校の実情に応じて、より良い学校環境の整備に努めていき、引き続き過密状況に対応していく。

常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県 県内調査 検索

総務防災常任委員会 調査日：令和3年12月13日(月)

調査先：陸上自衛隊下志津駐屯地高射学校(千葉市若葉区)

陸上自衛隊の
災害派遣体制

県内における陸上自衛隊の災害派遣体制の状況について調査するとともに、災害派遣用装備品について視察しました。



災害派遣用装備品の説明を受ける委員

環境生活警察常任委員会 調査日：令和3年12月14日(火)

調査先：エコシステム千葉株式会社(袖ケ浦市)

産業廃棄物処理施設における
焼却処理等の状況

施設における安全対策、循環型社会やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み等について、調査しました。



施設内会議室において説明を受ける委員

商工労働常任委員会 調査日：令和3年12月15日(水)

調査先：市原高等技術専門校(市原市)、かずさDNA研究所(木更津市)

市原高等技術専門校の
整備状況

市原高等技術専門校を視察し、老朽化により建て替え予定の総合実習棟等を調査しました。その後、かずさDNA研究所の最近の取り組み等について調査しました。



現総合実習棟の状況等について説明を受ける委員

県土整備常任委員会 調査日：令和3年12月16日(木)

調査先：海岸陸閘(大網白里市)、一宮川・第二調節池(茂原市)

一宮川流域における
浸水対策

海岸陸閘の津波対策状況を視察した後、令和元年10月豪雨により、家屋約4,000戸の浸水被害があった一宮川流域における浸水対策事業の進捗状況を視察しました。



一宮川・第二調節池の工事現場にて事業の進捗状況について説明を受ける委員

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 12月 検索

12月3日(金)



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

東京湾沿岸海岸保全基本計画の改定
子ども病院とがんセンターの連携
不登校児童生徒の支援
運転免許センターの託児所等整備



立千民 松戸 隆政 議員 (松戸市)

防災
救急医療
動物愛護
松戸市の道路問題

12月6日(月)



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

浄化槽の法定検査
上下水道料金の徴収一元化
自動車税の状況
LED化対策



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

スクールソーシャルワーカー
通学路の交通安全対策
地域公共交通
農地



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

軽石対策
水害対策
各地域の出先機関の機能強化
ドクターヘリ



公明党 田村 耕作 議員 (千葉市花見川区)

私立幼稚園の預かり保育の充実
コワーキングスペースの活用
水道管の耐震化
総合型地域スポーツクラブ



無所属 松崎 太洋 議員 (柏市)

新型コロナウイルス感染症対策
自動販売機
千葉県生涯大学校
交通安全対策

12月7日(火)



自民党 高橋 祐子 議員 (富里市)

消防広域化
2050年カーボンニュートラルに向けて
危機管理体制の充実・強化
農業振興



千翔会 大崎 雄介 議員 (船橋市)

中核市との連携
中小企業支援
自治体新電力
EIS(後天性免疫不全症候群)対策



立千民 平田 悦子 議員 (君津市)

有害鳥獣対策と関連する事業
女性を支援する取組
元気づば！健康チャレンジ事業
SNSを活用した県広報活動



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

千葉県産農林水産物の輸出
燃油価格の高騰
コロナ対策における市町村との連携
不法投棄対策



リベ民 秋葉 就一 議員 (八千代市)

新型コロナウイルス感染症対策
児童虐待防止行政の改善
交通安全
東葉高速鉄道

12月8日(水)



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

船橋競馬場駅に接続する歩道橋
ファウエイと経済安全保障
「従軍慰安婦」教科書記述訂正
赤旗の公費による購読



自民党 佐藤 健二郎 議員 (習志野市)

(仮称)千葉県総合救急災害医療センター
新型コロナウイルス感染症対応
病床の不足対策
都市計画道路
外国語教育



自民党 伊藤 和男 議員 (香取市・香取郡神崎町・香取郡多古町)

知事の政治姿勢
新型コロナウイルス感染症対策
農業問題



県民声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

千葉県産農産物
千葉県フィルムコミッション
千葉県外房有料道路の管理
房総のむら



自民党 伊藤 寛 議員 (習志野市)

交通安全教育
土砂災害警戒区域指定
災害時における踏切道の長時間遮断対応
障害のある人の地域生活推進

12月9日(木)



自民党 伊藤 清孝 議員 (東金市)

東千葉メディアカルセンター
木質バイオマス発電
県立農業大学の改修
圏央道開通を控えた企業誘致



無所属 下坂 しげき 議員 (市川市)

県民生活を支える行財政政策
県民の生命と暮らしを守る政策
県民の安心安全な生活を守る政策



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

持続可能な県内水道事業
火山噴火に対する危機管理
新型コロナウイルス感染症への対応と今後
東京パラリンピック・オリンピックの「レガシー」と地域おこし



令和4年2月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

Table with columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議時間. Rows include dates from 2月16日(水) to 2月18日(金) and 3月1日(火) to 3月15日(火).

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV...チバテレで生放送されます。PC...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。

12月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和3年度12月補正予算、各種条例案およびその他附帯議案の36議案の他、報告2件です。

○令和3年度補正予算案他

最初に議案第1号から議案第5号までの5議案は、一般会計および特別会計の補正予算案です。

今回の補正予算では、県の「海岸保全基本計画」について、国の基本方針などを踏まえた見直しを行う必要があることから、関連する調査を実施するための債務負担行為を設定します。

その他、令和4年度以降の事業の早期執行を図るための債務負担行為や、適正な工期を確保するための繰越明許費を設定します。

次に、議案第6号から議案第14号までの9議案は、条例の一部改正に係るものです。そのうち主なものについてご説明申し上げます。

議案第6号は、職員の給与について、人事委員会の勧告に基づき期末勤勉手当の支給月数を引き下げたため、議案第7号は、一般の職員との均衡を考慮し特別職の期末手当の支給月数を引き下げたため、議案第8号は、知事の権限に属する事務処理について市町村へ権限を移譲するため、議案第9号は、手数料の新設等を行うため、議案第10号は、無料低額宿泊所のサテライト型住居について設備等の基準を規定するため、それぞれ条例の一部を改正するものです。

また、議案第15号から議案第18号までの4議案は、山武合同庁舎の建築などの工事請負に係る契約を締結するため、議案第19号は、総合スポーツセンター野球場の照明塔設置工事請負の契約金額を変更するため、議案第20号は、損害賠償の額を決定するため、議案第22号から議案第36号までの15議案は、公の施設の指定管理者を指定するため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

○新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止対策への県民や事業者の皆さまのご協力と、ワクチン接種の進展等により、現在、感染状況は落ち着いています。

あらためて、県民の皆さま、事業者の皆さま、医療を支えてこられた医療関係者の皆さまのご協力に、心から感謝を申し上げます。

県では、昨日新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、保健・医療提供体制の整備について、令和3年の夏の感染拡大を踏まえ、新たに「保健・医療提供体制確保計画」を今月末末



でにまとめ、今後の感染再拡大に備えた取り組みを進めることとしました。

特に医療提供体制の整備について申し上げますと、令和3年の夏の感染拡大のピーク時と同程度の状況を想定し、新規感染者数などの状況に応じて確保する病床数等を3段階で設定するとともに、県内2カ所目となる臨時的医療施設を、宿泊療養施設と合わせた複合的な施設として、千葉市内の民間研修施設を活用して設置します。

この他、ワクチン・検査パッケージを活用した行動制限の緩和についてですが、今後、感染再拡大の傾向が見られた場合には、再び事業者の皆さまに営業の制限をお願いすることになります。この際、「ワクチン・検査パッケージ制度」の適用により制限を緩和することを予定しており、これに係るPCR検査等の無料化や飲食店等の登録手続きについて検討を進めてまいります。

また、飲食店や観光業など、県内経済の回復を後押しする取り組みとして、Go Toイート事業やディスカバー千葉宿泊者優待事業の再開など、段階的に進めているところですが、Go Toイート事業について、食事券の利用期限を2月28日まで延長致します。

この他、総合計画および行財政改革計画の策定について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索